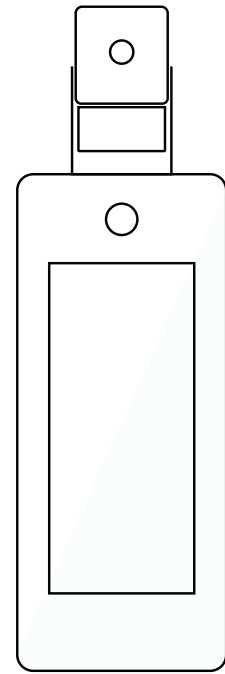


YAZAWA

Thermo Camera
取扱説明書



TC01 / TC01SN

もくじ

注意書	-----右ページ
【1】はじめに	-----P3
【2】内容品を確認します	-----P3
【3】各部名称を確認します	-----P3
【4】配線イメージから設置場所を定めます	-----P3
【5】3点いずれかの方法で取り付けします	-----P4/P5
【6】動作を確認します	-----P6
【7】ネットワークに接続します(ネットワーク環境必須)	-----P7
【8】ネットワーク設定項目を操作します	
A. 警告温度を変更する	-----P7
B. 記録データを閲覧する	-----P8
C. 表示時間を校正する	-----P8
D. ブザーボリュームを変更する	-----P8
E. ソフトウェアアップデートを実施する	-----P9
F. スマートフォン専用視聴アプリで通知を受け取る	-----P9
G. 記録データをEXCEL形式でダウンロードする	-----P10
【9】外部出力機能を使用します(一例:ランプ連携)	-----P11
【10】その他の設定/よくある質問	-----P12
製品保証書	-----裏表紙

このたびは、TC01/TC01SNをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
また大切に保管し、必要なときにお読みください。

〈おことわり〉

本製品は、医療機器ではございません。あくまで表面温度を測定する装置であり、疾患/疾病/症候群を発見、診断するための装置ではございません。
表面温度は測定時の環境条件、被測定者の状態次第で変動します。必要に応じて水銀体温計等を使った測定を行い、医師による診断を促してください。
また、本製品の初期設定が正確に行われていない場合、測定精度が低下する可能性があります。
事件・事故等の損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
万一故障等が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
本製品は、当社保証規定に基づいて保証させて頂いております。

※製品保証書が貼付される裏表紙は、大切に保管してください。

この「取扱説明書」では、本機をご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お取り扱いの際に守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、本取扱説明書をお読みいただくようお願い申し上げます。

注意書

この度は、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取付前、ご使用前にこの注意書及び取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
※この注意書及び取扱説明書は、大切に保管し、必要な時にお読みください。

—おことわり—

※本製品は弊社保証規定に基づいて保証させていただきます。
※本紙は大切に保管してください。※仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本製品は高温測定の検出を目的として設計されております。正確に体温を測定するためには医療用の水銀体温計等をご使用ください。

—正しく設置・ご使用いただくために—

- こんな場所には設置しないでください
・ 蛍光灯などの光源が直接カメラの視野に入る場所 ・ 太陽が季節、時刻を通して直接カメラの視野に入る場所 ・ X線や放射線、および強い電波や磁気の発生する場所
※製品仕様の「動作環境」内の場所に設置してください。
- その他の注意事項
・ 電源は必ず弊社の AC アダプター、または電源供給器をご使用ください。 ・ 本体に強い衝撃、振動を与えないでください。
・ 汚れなどが付着するため、定期的にカメラのレンズを清掃してください。

警告表示の意味

この「注意書」では、本製品を設置、または使用される方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お取り扱いの際、守っていただきたい事項について次の「図記号」で表示しています。図記号の意味を十分にご理解のうえ、この「注意書」をお読みいただくようお願い申し上げます。



警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

禁止を表します。してはいけない内容です。



注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがあります。



指示

必ず実行しなければならない内容です。

安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故につながる場合があります。本紙には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の正しい取り扱い方を記載しています。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管して下さい。

警告



注意

分解・改造等しない
火災や感電、故障の原因となります。



注意

ぬれた手で本製品にふれない
感電や故障の原因となります。



指示

故障や異常にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。そのままご使用になりますと、故障の拡大や思わぬ事故の原因となります。



注意

浴室など湿気が非常に高い場所や、水に浸かるおそれのある場所には設置しない。火災や感電、故障の原因となります。



注意

機器の重みに耐えられない場所には取付けない。感電や故障の原因となります。

注意



注意

赤外線照明投光器の光を長時間見続けず。
本製品には、目には見えませんが赤外線を発生する機種がございます。赤外線の熱効果により、目を傷つけるおそれがあります。



注意

ストーブやコンロなど、高温になる物を近づけない。変形や故障の原因となります。



注意

磁石など、磁気を帯びた物を近づけない。誤動作や故障の原因となります。



注意

腐食性のガスや塵埃がかからないようにする。故障や寿命低下の原因となります。



注意

電気製品など、電氣的ノイズや電磁波が発生する物を近づけない。誤動作や故障の原因となります。



指示

本製品を構成する部品には消耗品が含まれます。定期的な点検の実施および交換をおすすめします。

保証規定

本紙は記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合、本紙をご確認いただき、下記カスタマーサポートまで修理を依頼してください。

- お買い上げ日が不明な場合は、有料修理とさせていただきます。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

この保証規定は記載内容の範囲で無料修理をお約束するものであり、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- 無料修理規定 -

1. 注意書、取扱説明書等に従った正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理・調整いたします。
2. 保証期間中であっても以下の場合は有料修理となります。
 - ・ お客様側での移動時の衝撃等が原因の故障
 - ・ 工事、使用上の誤り、不当な改造による故障
 - ・ 火災、雷等天災、その他自然災害、異常電圧による故障
 - ・ 本製品に接続された他社製品が原因の故障
 - ・ 消耗品、付属品に起因する故障
3. 本製品の正常なご使用状態以外で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責に任じません。
4. 本保証規定は、日本国内で使用される場合に限り有効です。
5. 弊社は出張修理を行っておりません。持込・配送修理のみ対応しております。
6. 弊社に修理依頼品をご送付いただく際の送料は、お客様にてご負担願います。

【1】はじめに

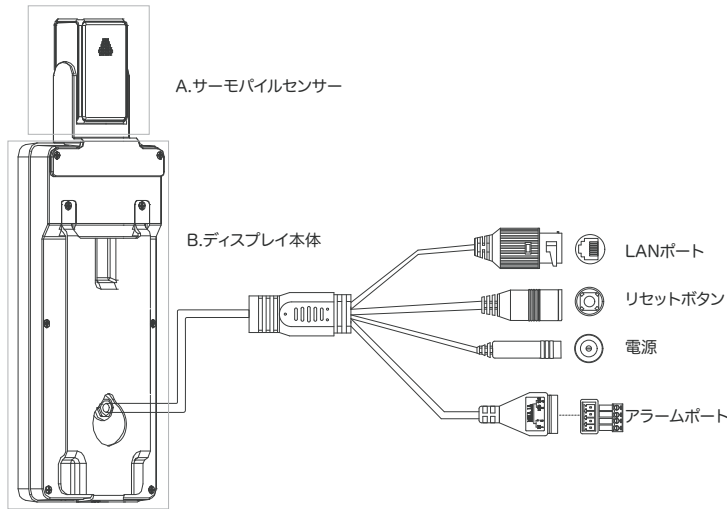
この商品は、サーモパイルセンサーを搭載したAI顔検出カメラです。特徴は、迅速な個体判断から顔検出を行い体温測定を実行します。高精度なサーモパイルセンサーを使用することで、静止測定時の精度は最大±0.3度の誤差で温度測定時間は最短1秒です。また温度測定距離は0.7～1.2メートルの範囲で測定可能です。体温が正常な場合、体温が異常な場合を分別し表示します。顔の検出、検温結果を同時に確認する仕組みです。液晶画面は7インチIPS高精細カラー画面仕様で、画質はクリアに表示されます。設置場所は病院、ホテル、オフィスビルの入り口、スーパー、政府機関、その他商業施設、等様々な場所に適しています。

※本製品は、医療機器ではございません。あくまで表面温度を測定する装置であり、疾患/疾病/症候群を発見、診断するための装置ではございません。

【2】内容品を確認します

- サーモシステム本体 1台(サーモパイルセンサー+ディスプレイ)
- USBアダプター(OUT:5V2A) 1台
- 給電用USBケーブル 1本
- 壁面設置用金具 1台(工場出荷時 本体取付済み)
- 卓上スタンド 1台
- 取付用ビス(小4本/大4本)・コンクリートアンカー(大4本) 1セット
- 設置用ラベル、計測用ラベル 各1枚
- 三脚取付用金具 1台
- 三脚本体(TC01SNは除く)

【3】各部名称を確認します

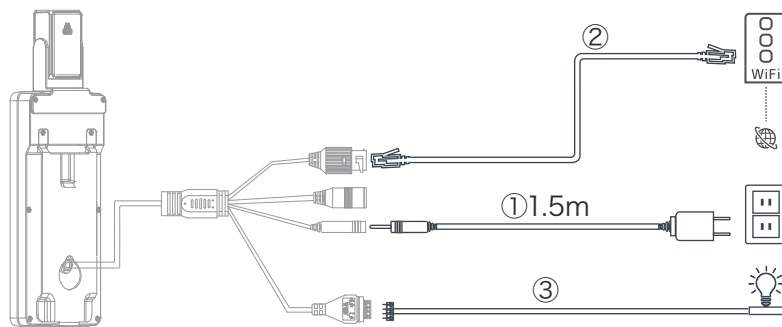


LANポート(イーサネット)	RJ45ネットワークポート
リセットボタン(RST)	リセット専用タッチボタン
電源	DC5V2A、DC005メス2.1*5.5
アラームポート	2CHアラーム出力(アクセス制御またはサウンド/ライトアラーム)

■本体仕様

A	測定温度精度	±0.3度
	測定温度距離	最大1.2m/最適な測定距離は70cm
	検出器	非冷却酸化バナジウムコックス平面センサー
	誘導型	マイクロボロメーター
B	サイズ	7インチ
	マテリアル	IPS
	解像度	1024×600
基本	設置方法	壁面設置/卓上設置/三脚取付
	防水防塵性能	※
	素材	アルミニウム合金
動作環境	場所/温度	室内 / 温度16~35°C
	湿度	湿度70%未満

【4】配線イメージから設置場所を定めます



製品の動作に必要な配線

- ① 付属のUSBアダプターと給電用USBケーブルを使用し、コンセントとディスプレイ本体を接続します。

※必ず付属のUSBアダプター、USBケーブルをご利用ください。従わない場合、火災・故障の原因となります。

製品の動作に必ずしも必要でない配線

- ② 【ネットワーク機能】 LANケーブルを用意し、インターネット接続済みルーターと接続します。
- ③ 【外部機器と連携】 出力機能を利用し、外部機器と接続します。 例: ランプ

※動作確認前にビス等で固定しないでください。

■使用環境について

【正しく測定するためには・・・】

1. 室内に設置してください。
2. 湿度を70%未満に調整してください。
3. 室温を16~35°Cの範囲内に調整してください。
4. 額部分が測定基準位置になります。
測定時に額が汗で濡れていたり、髪の毛で隠れないようにしてください。
5. 推奨環境内で測定しているか定期的にご確認ください。測定距離は最大1.2mです。最適な測定距離は0.7mです。

※防水性について---本製品は完全防塵・防水仕様ではございません。

※動作環境について---対象外の環境下では、検温精度の低下を招くおそれがあります。

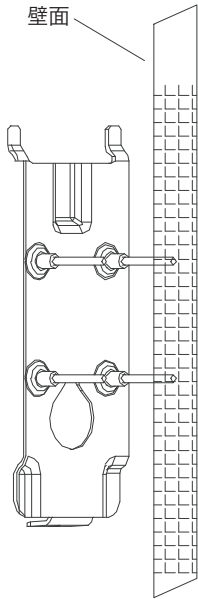
※屋外環境では、太陽光等の影響により測定データに大きな誤差が生じるため、屋外での使用はお控えください。

【5】3点いずれかの方法で取付します

A. 壁面設置

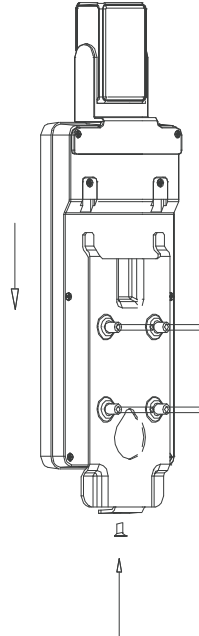
①

壁に穴をあけゴム製のプラグを挿入します。
ネジを本体に固定しゴム製のプラグにかけます。



②

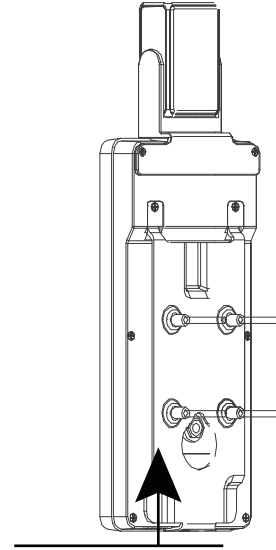
本体を壁に掛けねじ込みます。



③

電源を入れます。

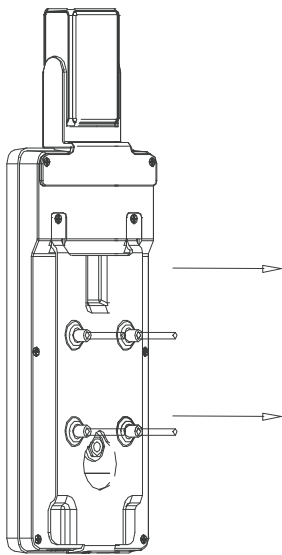
(注意)
必ず線の位置が床から高さ100~130cmになるように設置してください。
(ネットワークに接続する場合は、LANケーブルの配線が必要です。)



B. 卓上設置

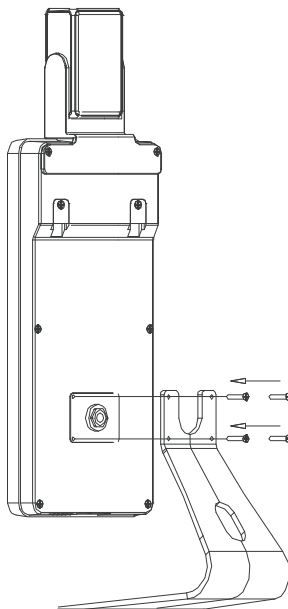
①

予め、本体背面の壁面設置用金具を外します。



②

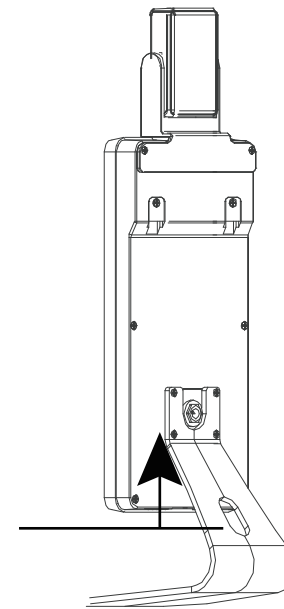
本体を卓上スタンドに取り付け、付属の4本の小ビスで固定します。



③

電源を入れます。

(注意)
必ず線の位置が床(足元)から高さ100~130cmになるように設置してください。
(ネットワークに接続する場合は、LANケーブルの配線が必要です。)

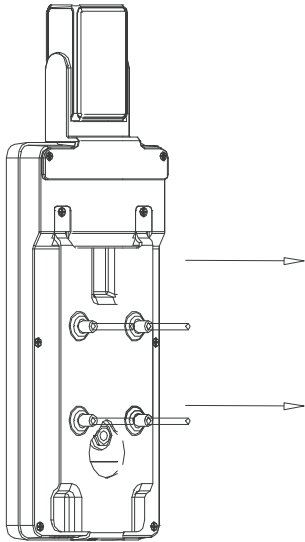


【5】3点いずれかの方法で取付します(続き)

C.三脚設置

①

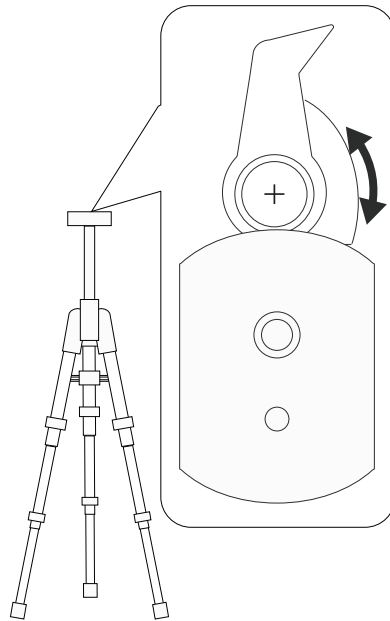
予め、本体背面の壁面設置用金具を外します。



②

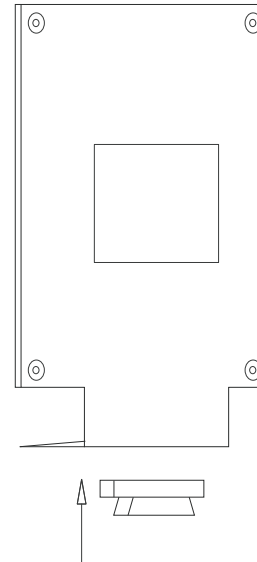
三脚を用意し、先端部に装着される取付治具を外します。レバーを90°回転させると、クイックシューの固定が解除され、取り外しが可能となります。

※一般的な三脚を想定しています



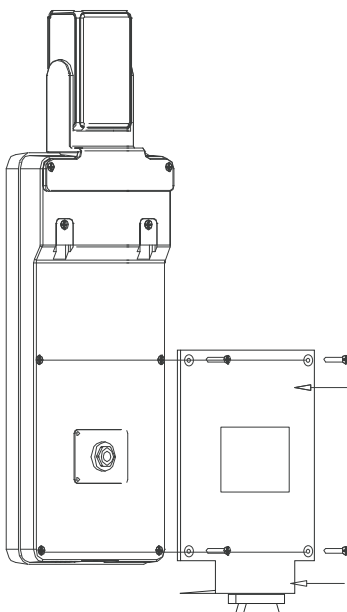
③

②の取付治具を三脚用取付金具にネジ固定します。取付治具底面の取手付きネジを取付金具底面へ固定してください。



④

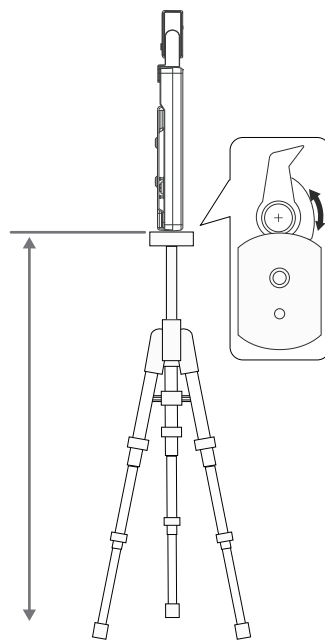
本体を卓上スタンドに取り付け、元々取り付けられている4本のビスで固定します。



⑤

三脚を開いて固定し、適切な高さに調整します。③で用意した金具付本体を三脚に取り付けます。取付は、②と同様の原理です。

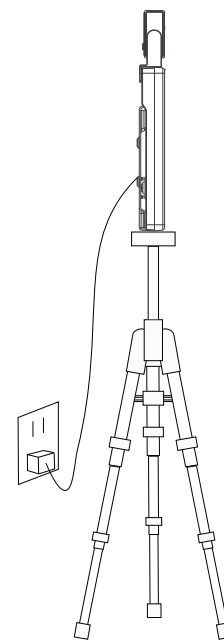
※床から本体最下部まで100cm~130cmを目安としてください。



⑥

電源を入れます。

(注意)
ネットワークに接続する場合は、LANケーブルの配線が必要です。



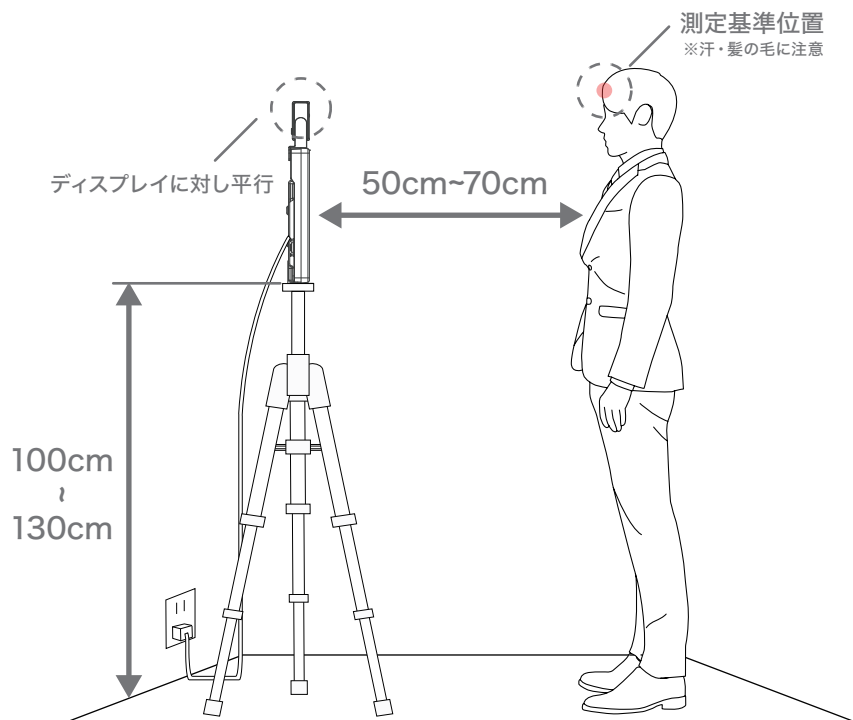
【6】動作を確認します

計測方法

○ 湿度70%未満

○ 室温16°C以上35°C以下

※本製品は完全防塵・防水仕様ではございません。
 ※動作環境について---対象外の環境下では、検温精度の低下を招くおそれがあります。
 ※屋外環境では、太陽光等の影響により測定データに大きな誤差が生じるため、屋外での使用はお控えください。



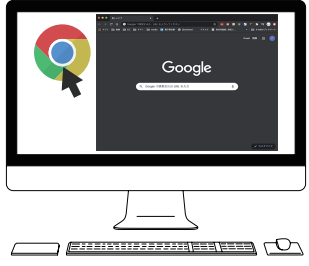
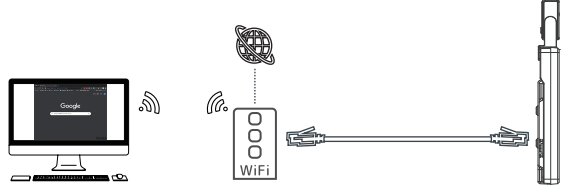


- ① P3【4】設置イメージ、P4/P5【5】取付に関し、理解した上で本製品を設置します。(理想の高さ110cm)
- ② 電源を入れます。起動が完了するまで、3分~5分を必要とします。
- ③ 起動が完了したら、検温を開始します。被写体となる顔はカメラの正面方向を向くようにし、本商品の液晶画面から50cm~70cmの位置に立つようにして下さい。
 このとき、サーモパイルセンサーがディスプレイに対し平行であることを確認してください。
- ④ カメラはリアルタイムで温度情報を表示し、異常な温度(警告温度)を検出するとアラームが作動します。
 (異常温度の初期値は37.3°C以上です。)

35°C未満	35°C以上(正常値)	警告温度
<p>■黄色で表示</p> <p>35°C未満の表示は、黄色で表示されます。この値は正常と判断されます。表面温度が十分に温まったあと再度検温することを推奨します。</p> <p>OK(表面温度):34.9°C</p>	<p>■青色で表示</p> <p>35°C以上の表示は、青色で表示されます。この値は正常と判断されます。</p> <p>36.3°C</p>	<p>■赤色で表示</p> <p>異常温度の表示は、赤色で表示されます。この値は発熱している可能性が高いと判断されます。体温計で再測定することを推奨します。</p> <p>37.6°C</p>


注意事項

- a. 本商品の運用を開始する30分以上前に電源を入れて起動することを推奨します。
- b. 検温時の顔と画面間の距離は70cm程度が最適です。
- c. 床(足元)から本体下部までの高さが100~130cmの位置に設置してください。
- d. 背の高い方は少しかがみ、額を画面の枠内に収まるよう調整してください。
- e. 背の低い方も同様、額が画面に入るよう調整してください。
- f. 顔が画面に完全に表示されない場合は測定できないのでご注意ください。
- g. 3秒以内に緑色の顔枠が表示されない場合は、マスクを外して再度測定してください。
- h. 外出、運動、入浴の直後の検温は、精度が下がります。その場合は検温前に30分間程度、使用環境の温度に馴染む事を推奨します。
- i. 額が汗等で濡れていないこと、また髪の毛等で隠れないように気をつけて下さい。
- j. 推奨環境内で測定しているか定期的にご確認ください。屋外の高温環境から来た場合は2~3分経ってから測定することを推奨します。
- k. 本商品は高温測定の検出を目的として設計されております。正確に体温を測定するためには医療用の水銀体温計等をご使用ください。

【7】ネットワークに接続します(ネットワーク環境必須)

<p>① パソコンを用意しブラウザを開く</p>  <p>対応WEBブラウザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Chrome: Chrome79 (2019年12月11日)以降 ■ Edge: 80.0.361.48 (2020年2月7日)以降 ■ Safari: Safari13(608.5.12) (2020年1月28日)以降 <p>パソコンを用意し、お使いのインターネットブラウザを開いておきます。推奨ブラウザは、Google Chrome、Edge、Safariです。なお、パソコンは、無線もしくは有線でルーターへ接続しておきます。</p>	<p>② 製品本体をルーターと接続する</p>  <p>LANケーブルを用意し、製品本体へ差し込みます。その後、パソコンと同様のルーターへLANケーブルを接続します。(P3参照) 正常に接続されると端子部分から「カチ」と音が聞こえます。接続完了から一分程度待ちます。</p>
<p>③ IPアドレスを確認する</p>  <p>製品ディスプレイ左下の「IPアドレス」を確認します。正常に通信されていれば、「192.168」で開始された値が表示されています。正常に表示されない場合は、少し時間を空けてください。</p>	<p>④ ブラウザでIPアドレスを入力する</p>  <p>インターネットブラウザで、「IPアドレス」を入力します。インターネットブラウザの検索窓から、入力が可能です。入力後Enterキーを押すと、サーモシステムへアクセスされます。初期passwordとして[admin]を入力しログインします。</p>

2つのモードの違い

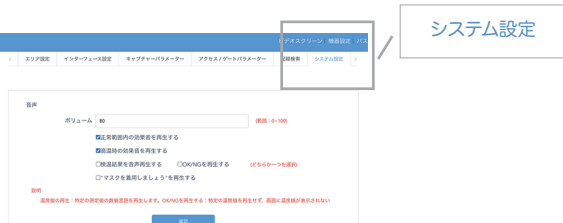



本製品には、2つの機能切替モードが存在します。スタンドアロンモードは初期設定値であり、製品の細かな設定を行えます。特筆すべきは、外部出力機能を利用できる点です。これによりランプ点滅などの外部機器連携が可能となります。プラットフォームモードは、スマートフォンアプリへの通知機能を利用でき、記録データダウンロードも行えます。必要に応じ、切り替えながらご利用ください。

機能	● スタンドアロンモード	● プラットフォームモード
スマートフォンアプリ通知機能	×	○
アクセスゲートパラメーター(外部出力機能)	○	×
インターフェース設定(使用しません)	○	×
キャプチャパラメータ(使用しません)	○	×
記録データダウンロード	×	○

【8】ネットワーク設定項目を操作します

A. 警告温度を変更する



<p>① 【7】を完了させ、タブメニューを選択する</p>  <p>【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。</p>	<p>② 警告温度を変更する</p>  <p>下にスクロールしていくと、警告温度の入力項目があるので、希望する温度を入力し保存しましょう。(本製品の計測精度は、±0.3°Cです) 最大値は43°Cまで入力できます。</p>
---	---

【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)



B.記録データを閲覧する

【7】を完了させ、タブメニューを選択する	a.記録データの絞り込みを行なう																		
 <p>記録検索</p>	 <p>検索時間: 2020-11-05 00:00:00 ~ 2020-11-06 23:59:59 温度選択: 正常範囲 検索</p>																		
<p>【7】を完了させた後、タブメニューから「記録検索」を選択します。選択した段階で、記録された情報が列挙されます。ID、写真、検温結果、時間がテーブル表示されます。</p>	<p>本画面左上には、記録情報の絞り込みを可能にするメニューがあります。検索時間、温度設定について選択し、検索することができます。</p>																		
b.記録データを削除する	※本データのダウンロード方法…																		
 <p>消去 全て消去</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>画像</th> <th>検温結果</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>43.0°C</td> <td>2020/11/05 12:07:39</td> </tr> <tr> <td></td> <td>36.7°C</td> <td>2020/11/05 12:07:38</td> </tr> <tr> <td></td> <td>43.0°C</td> <td>2020/11/05 12:07:28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.7°C</td> <td>2020/11/05 12:07:17</td> </tr> <tr> <td></td> <td>43.0°C</td> <td>2020/11/05 12:06:40</td> </tr> </tbody> </table>	画像	検温結果	時間		43.0°C	2020/11/05 12:07:39		36.7°C	2020/11/05 12:07:38		43.0°C	2020/11/05 12:07:28		25.7°C	2020/11/05 12:07:17		43.0°C	2020/11/05 12:06:40
画像	検温結果	時間																	
	43.0°C	2020/11/05 12:07:39																	
	36.7°C	2020/11/05 12:07:38																	
	43.0°C	2020/11/05 12:07:28																	
	25.7°C	2020/11/05 12:07:17																	
	43.0°C	2020/11/05 12:06:40																	
<p>本画面右上には、記録情報を削除するためのボタンが配置されています。記録情報の左側にチェックを入れ「消去」することができます。全てのデータを削除する場合は、「全て消去」を選択します。</p>	<p>本情報をダウンロードするためには、専用WEBページへ移動する必要があります。また予めプラットフォームモードへ切り替えておく必要があります。(詳しくはP10へ)</p>																		

C.表示時間を校正する

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する	②時間設定を変更する
 <p>システム設定</p>	 <p>時間設定 NTPタイムサーバー: ntp.nict.jp タイムゾーン: +9 時間: 2020-11-05 12:27:27 ローカル時間へ初期 NTPサーバーへ初期</p>
<p>【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。</p>	<p>下にスクロールしていくと、「時間設定」項目が表示されます。「NTPサーバー」(時刻同期サーバー)項目を入力し、「タイムゾーン」は+9にします。※NTPサーバーは、インターネット上で無料公開されています。</p>


D.ブザーボリュームを変更する

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する	②ボリュームを変更する
 <p>システム設定</p>	 <p>ボリューム 80 確認</p>
<p>【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。</p>	<p>開くとすぐにボリュームの入力項目があるので、希望する音量を入力し確認しましょう。ボリュームは100(%)表示で90~95dB(デシベル)です。※90db=「犬の鳴き声」</p>

【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)


E.ソフトウェアアップデートを実施する

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する




【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。
※アップデート中に電源が切れた場合、製品が故障する恐れがありますので、ご注意ください。

②アップグレードボタンを押す



下にスクロールしていくと、アップグレード項目があるので、「アップグレード」をクリックします。内容を確認し、「確認」を押します。

③アップデート完了を確認する



アップデートが開始されます。アップデート完了後、画面中央上へメッセージが表示され、製品は再起動を開始します。


F.スマートフォン専用視聴アプリで通知を受け取る

①【7】を完了させ、スマホアプリをインストールする



【7】を完了させた後、スマートフォンを用意し、アプリ「Doby」をインストールします。アプリ起動直後は、Dobyアカウントを作成する必要があるため、メールアドレスとパスワードを準備しましょう。※専用WEBページと同一アカウントです。

②スマートフォンをルーターに接続する




スマートフォンの本体設定から、2.4Ghz帯域のWiFiネットワーク(SSID)へ接続します。このとき、サーモシステムが接続されているルーターと同様のネットワークに接続されているかを確認してください。

③専用視聴アプリへ製品を登録する



専用アプリを立ち上げ、ホーム画面「+」をタップします。「スマートカメラ」→「サーモシステム」→「有線接続」と順に選び、設定を進めます。この後の設定は、画面の指示に従い進めます。設定が完了すると、ホーム画面に製品が登録されています。


④検温結果の通知を受け取る



初期設定値ではサーモシステムで検温すると、正常値/警告値に関わらずスマホ通知が実行されます。どちらか何れかのみ通知も設定できます。
※予め、製品は、プラットフォームモードへ切り替えておきましょう。

他のスマホと共有

通知を共有する方法として、シェアする側のDobyアカウントと同様のアカウントでログインする方法があります。まず、①~④を完了させた後、共有するスマートフォンでアプリ「Doby」をインストールします。次に起動直後の「ログイン」ボタンを押します。ログイン画面が表示されたら、①で作成したアカウントのメールアドレスとパスワードを入力してください。この作業により同一のアカウントで製品を操作することができます。



【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)

G.記録データをEXCEL形式でダウンロードする

注意

この機能は、プラットフォームモードへ変更したのちアカウントを取得することで利用できる機能です。当該設定を完了していない場合、専用WEBページで記録データは生成されません。事前に本設定の①~⑤までを設定しておきましょう。

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する



【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。
※予めプラットフォームモードに変更しておきます

②専用WEBページへ移動する



下にスクロールしていくと、「AI FACEにジャンプ」ボタンが配置されていますので、クリックします。クリックすると、専用WEBページへ移動します。

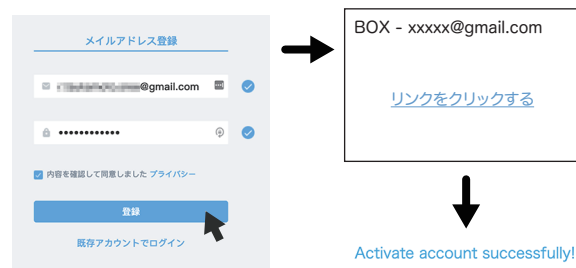
③専用WEBページへログインする



- アカウント登録済の場合
→メールアドレス、パスワードを入力しログイン。⑥へ。
※スマホアプリDobyのアカウントと同一のアカウントとなります。
- アカウント未登録の場合
→メールアドレスを用意し④へ。

専用WEBページにて、ログインまたはアカウント作成を行ないます。スマホでの登録設定が完了している場合、「メールアドレス」「パスワード」でログイン後、⑥へ移動してください。そうでない場合は次項へ移動してください。

④アカウントを作成する



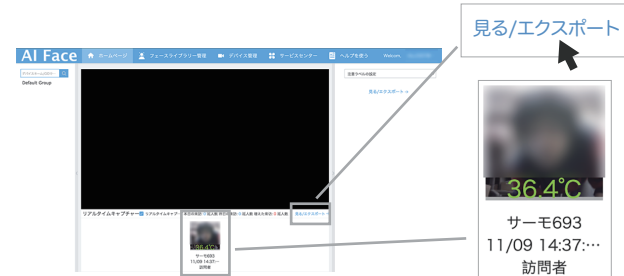
アカウントを登録するには、メールアドレスとパスワードが必要です。利用可能なメールアドレスとパスワードを入力し、お使いのメールBOXを開きます。メールBOXに登録用メールが配信されていますので、リンクを押すと登録完了します。

⑤製品をアカウントに登録する



③へ戻り、ログインを完了させたら、画面上メニュー「デバイス管理」→「デバイスを追加する」へ進みます。このとき、製品の「CID」並びに「検証コード」を入力する必要があります。(製品背面ラベルを要確認)入力後正常であれば、登録完了します。

⑥検温データを確認する



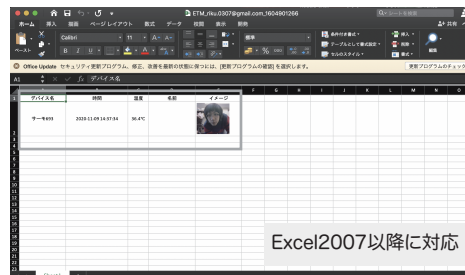
画面左上メニュー「ホームページ」をクリックします。画面中央下に検温画像が表示されていれば、ダウンロードできます。「見る/エクスポート」をクリックしてください。※表示されていない場合は、検温データが存在していないことを意味します。

⑦EXCELデータをエクスポートする






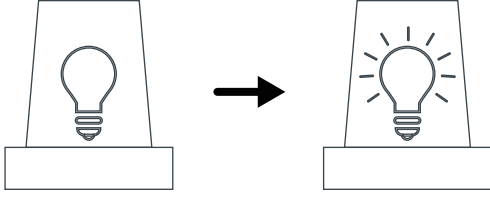
画面が移動したら、「エクスポート」をクリックし、必要なデータを選んだのち「実行します」を押します。デバイス、検温結果、時間からフィルタリングすることも可能です。

⑧EXCELで開いてデータを確認します



エクスポートされたデータは、[.xlsx]ファイルとなり、Microsoft Office「EXCEL」で開くことができます。指定されたデータのデバイス名、時間、検温結果、イメージ(写真)を閲覧できます。

【9】外部出力機能を使用します(一例:ランプ連携)

<p>①ランプを用意し、製品に接続する</p>  <p>パトランプ</p> <p>パトランプを用意し、サーモシステムのアラームポート部品へ接続します。接続方法は、ランプメーカーによって異なります。配線や電源については、ランプメーカーへご確認ください。</p>	<p>②【7】を完了させ、操作を進めます</p>  <p>アクセス/ゲートパラメーター</p> <p>【7】を完了させた後、インストレーションモードをスタンドアロンモードに変更します。変更後、「アクセス/ゲートパラメーター」をクリックします。</p>
<p>③動作確認する</p>  <p>①チェックする</p> <p>②クリックする</p> <p>「外部インターフェイス」のチェックボックス「有効にする」を押し、「テスト」をクリックします。</p>	<p>④動作確認する</p>  <p>「テスト」をクリックした段階で、正常であればランプが点滅します。</p>

【10】その他の設定/よくある質問

その他の設定

- a. スクリーンセーバーを調整する: 「システム設定」→「スクリーンセーバー時間」
選択項目値を変更し、「確認」をクリックする。
- b. 表示映像を反転させる: 「システム設定」→「映像表示」
選択項目値を変更し、「確認」をクリックする。
- c. 音声内容を変更する: 「システム設定」→「音声」
「正常範囲内の効果音を再生する」→検温結果が正常だった場合の効果音をON/OFFできます。
「高温時の効果音を再生する」 →検温結果が正常でない場合の効果音をON/OFFできます。
「検温結果を音声再生する」 →検温結果を音声で読み上げます。
「OK/NGを再生する」 →検温結果が正常値であれば「OK」、そうでない場合は「NG」と読み上げます。
- d. 【admin】ログインパスワードを変更する: 画面右上「パスワード変更」し、変更する。
- e. 【admin】ログアウトする: 画面右上「ログアウト」をクリックする。

よくある質問

- 1 Q. 低音ばかり表示され、正常に検温できません。
A. ・「【6】動作を確認します」内【注意事項】をお読みください。本項目に抵触する場合、製品は正常に動作しません。
・製品の設置環境温度が16°Cを下回っている場合、正常に動作しません。
・サーモパイルセンサーの角度が、地面に対し垂直でない場合、正常に動作しません。
・サーモパイルセンサーに汚れ、傷が存在する場合、正常に動作しません。